

◎新・人間革命 激闘の章

「信心即生活」であり、「信心即仕事」である。また、「信心即人格」である——そう心を定め、真剣勝負で仕事に取り組むなかに信頼が生まれ、広宣流布の広がりもある。

信頼というのは、一朝一夕に築かれるものではない。日々の行為の、地道な積み重ねのなかで築かれていく。そして、その信頼こそが、人間関係の堅固な礎となるのだ。

(『新・人間革命』第27巻248ページ)

◎今日も広布へ <15>

自分の地域は、一切の責任を持って守っていく。わが地域に根を張っていくことだ。

足元の地域を大事にしていかなければならない。自ら率先して、信頼と友情光る地域革命を成し遂げていこう！

自分がある地域の、あの方と、どう心を通わせるか。この方と、どう理解し合い、支え合っていくか。それが大切だ。よき隣人として、親しまれ、慕われていく。これが仏法即社会の生き方である。

(聖教新聞 2013年4月13日付)